本森百景

京橋図書館だより
第11号
令和8年3月20日号
中央区立京橋図書館
中央区新富一丁目13番14号

3階メインカウンター横にある貴重書庫展示コーナー

京橋図書館企画展示開催
3階貴重書庫の展示をぜひご覧ください。

昭和4年（1929）に新築開館した京橋図書館の開架室

昭和45年（1970）に新築開館した京橋図書館の中央カウンター付近（中央区役所 地下）

受け継がれてきた
貴重な資料を
大切に保存し、
活用していきます。

本の森 ちゅうおう
HON no MORI CHUO

中央区立京橋図書館 Chuo City Kyobashi Library
中央区立郷土資料館 Chuo City Chuo Historical Museum

《本森百景 Vol.11 目次》

表紙
P.2 貴重書庫展示のお知らせ
P.3 中央区と画廊
P.4・5 2025年7月～12月開催イベント
本の森イベント報告
P.6 2025年ミニシアター上映作品のご紹介
P.7 2025年年間貸出資料部門別ランキング
P.8 電子書籍貸出サービスのご案内

京橋図書館企画展示

「貴重地域資料にみる 中央区の劇場 ―明治座・築地小劇場・新橋演舞場」

場所：本の森ちゅうおう（京橋図書館）3階 貴重書庫展示コーナー（メインカウンター横）期間：2026年2月20日（金）～5月20日（水）（予定）［休館日を除く］

資料①
「東京久松町久松座劇場大入之図」
朝香楼（歌川）芳春
明治12（1879）年

資料①

資料①②③④などを展示します。貴重な地域資料をぜひご覧下さい。（資料保護のため展示期間中に複製や同種の資料に展示替えを行います）資料・画像・関連図書はすべて京橋図書館所蔵。関連図書は地域資料室で閲覧できます。（書名の後の記号は請求記号）

明治座

明治座は明治6（1873）年に現在の日本橋久松町に「喜昇座」として開場、その後「久松座」、「千歳座」と改称し、明治26（1893）年に「明治座」となりました。右の写真は明治時代の明治座です。大正12（1923）年の関東大震災で焼失し、その後昭和3（1928）年からは浜町公園に近い現在の場所に移りました。

資料②

久松座を描いた錦絵（資料①）の一部分を表紙にしたこの本は、『明治座物語』（木村錦花著 1928刊）です。錦花は劇作家である一方、明治座の運営にも関わりました。

〈関連図書〉
『読む絵画展―明治座の名画から深まる日本のハレ』中央区立郷土資料館 K212チ2023
『明治座評判記』藤田洋著 明治座 K771フ

築地小劇場

築地小劇場は大正13（1924）年日本で初めての新劇専用劇場として、新劇の父、小山内薫や演出家の土方与志が創設し、数々の実験的な公演が行われました。劇場は現在の住所で築地2丁目11番にありましたが、昭和20（1945）年3月の東京大空襲で焼失しました。

資料③

『築地小劇場』第2巻第7号の表紙（写真左）と第2巻第8号の裏表紙（写真右）。共に大正14（1925）年に出された劇場のパンフレットです。当時の流行語、「今日は帝劇、明日は三越」の「帝劇」の所が「お芝居」となっています。

〈関連図書〉
『築地小劇場100年―新劇の20世紀』早稲田大学坪内博士記念演劇博物館 K775ツ
『築地小劇場』菅井幸雄著 未来社 K775ス

新橋演舞場

新橋演舞場は、建築家菅原栄蔵（後に銀座ライオンビルを設計）が手掛け、大正14（1925）年に開場しました。右の写真はその頃の建物です。柿落としでは、「東をどり」が披露され、昨年（令和7年）には第百回公演が行われました。建物は昭和57（1982）年に新装されています。

資料④

写真右は菅原栄蔵が自ら著した新橋演舞場の写真集で、内部の華麗な装飾も写し出されています。写真左は「松竹少女歌劇」昭和11（1936）年10月公演のプログラムです。当時の大スター、水の江瀧子（ターキー）も出演しています。

〈関連図書〉
『東をどり 百回記念公演』東京新橋組合 東をどり編
K384ア2025
『新橋と演舞場の七十年』新橋演舞場 K771シ1996

中央区と画廊

銀座を歩いていると、大小さまざまな画廊・ギャラリーを目にします。中央区、特に銀座は日本でも有数の画廊の街です。

現在、銀座界隈にはおよそ250軒の画廊があるといわれています（「画廊のまち銀座」中央区役所YouTubeより）。そのなかでも、貸画廊が多いことは銀座の特徴のひとつです。貸画廊とは、作家が賃料を払って展示スペースとして画廊を借りるもので、作家たちの作品発表や人脈作りの場ともなります。日本においてもっとも貸画廊が流行した1960年代には、銀座の画廊の8割が貸画廊だったとの証言もあります（参考図書①）。

図1　歌川広重《江戸高名会亭尽　柳ばし夜景》
メトロポリタン美術館　Met コレクション

日本で最初の画廊は明治43（1910）年、神田淡路町に高村光太郎が開いた「琅玕洞」であるといわれますが（参考図書②）、本格的な画商（洋画商）が経営する画廊の登場は大正12（1923）年の関東大震災後です。昭和のはじめ頃には、麹町、京橋、日本橋と分散していた画廊が、現在の銀座周辺に集中しはじめ、戦後になるとその傾向は顕著となります（参考図書③）。戦後の銀座では、いち早く復興を遂げた百貨店に加え、高層ビルの建設により大資本が進出し商活動が活発化していきますが（参考図書④）、そうしたことが画廊の銀座集中の背景にあるのかもしれません。

図2　歌川広重《江戸高名会亭尽　両国柳橋》
メトロポリタン美術館　Met コレクション

ところで、江戸時代には現在の画廊のようなものはあったのでしょうか。残念ながら、画廊の前身はこれだ、と断言できるような資料を見つけることはできませんでした。しかし、江戸時代にも作家が自らの作品を披露する場はあったようです。たとえば、書画会。書画会とは、元々は「文人たちが一堂に会し、興にまかせて書や画を揮毫して遊ぶもの」（参考図書③）でしたが、しだいに料理茶屋で酒肴と芸者を楽しみながらの書画揮毫即売会となっていきます。

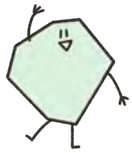
『武江年表』によると、寛政年間（1789～1801年）に、酒楼つまり料理茶屋での書画会が始まりました（参考図書⑤）。天保3（1832）年に刊行された地誌・風俗書『江戸繁昌記』にも、一章を割いて当時の書画会の様子が描写されています。そこには、「其の地多くは柳橋街、万八・河半の二楼を以つてす」と記されています。柳橋の両側（現在の台東区と、中央区東日本橋二丁目あたり）には茶店や料亭、酒楼、芸妓置屋などが多くあり（参考図書⑥）、万八こと万屋八郎兵衛と、河半こと河内屋半次郎は、書画会の開催場所として特に有名でした。初代歌川広重による、有名料理茶屋を描いたシリーズものの錦絵『江戸高名会亭尽』にも、万八と河半の書画会が登場します（図1、2）。また、日本橋浮世小路の百川も、書画会の会場としてよく利用されていました。こちらも歌川国貞（三代豊国）と広重による江戸の名高い会席料理屋を描いた錦絵『東都高名会席尽』に登場します（図3）。

図3　歌川国貞・広重
《東都高名会席尽　百川楼・浮世伊之助》
国立国会図書館デジタルコレクション

「権威的」な狩野派は参加しないなど、書画会は格式の低いものとして捉えられていた面もありますが、画家たちの交流の場としての機能も持っており、江戸末期の画壇の活性化に貢献したともいわれます（参考図書⑦）。江戸の料理茶屋で作品を発表していた作家たちに思いを馳せながら令和の画廊を散策してみてはいかがでしょうか。

【参考図書】
（すべて2階地域資料室に所蔵しています。）
①『ベイリィさんのみゆき画廊』みすず書房
②『資生堂ギャラリー七十五年史』資生堂
③『江戸東京学事典　新装版』三省堂
④『中央区史　中巻』東京都中央区役所
⑤『定本武江年表　中』（ちくま学芸文庫）筑摩書房
⑥『江戸繁昌記 1』（東洋文庫）平凡社
⑦『江戸とは何か 1 徳川の平和』至文堂

2025年7月～12月に1階多目的ホールで開催された数々のイベントの中から、選りすぐりのイベントをご紹介します。おかげさまで、募集開始から即、満席というイベントも増えています。様々なイベントの雰囲気をぜひ味わってください。また毎月テーマを変えて展示する展示コーナーもご紹介します。



児童対象イベント　11月16日（日）10：30～12：30

科学の本っておもしろい！「アンモナイト化石のレプリカ作り」

科学読物研究会の市川雅子さんを講師に「科学の本っておもしろい！アンモナイト化石のレプリカ作り」を開催しました。本物のアンモナイトや三葉虫の化石を使って、化石のレプリカを作りました。貴重な化石を使っての工作だったので、どの子も真剣に工作に向き合っていました。科学の本のおもしろさを知ってもらうために、市川さんによるブックトークも行いました。みんな興味しんしん、化石の時代に思いをめぐらせていました。

アンモナイト化石のレプリカ作り

児童対象イベント　12月14日（日）

①0、1、2歳向け11：00～11：30　②3歳以上向け14：30～15：10

「クリスマス子ども会」

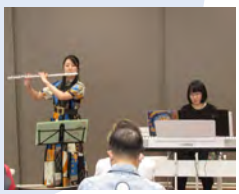
「クリスマス子ども会」を開催しました。大型絵本や紙芝居、ブラックライトで光るパネルシアターなど、スペシャルなおはなし会を楽しみました。ウクレレの演奏に合わせて、みんなでクリスマスソングを歌った後には、サンタさんが登場！みんなにプレゼントを配ってくれました。会場内に設けたフォトスポットも大好評で、サンタさんと記念撮影をしました。笑顔と音楽がいっぱいの、忘れられないクリスマス子ども会になりました。

クリスマス子ども会

9月30日（火）午前10時30分～11時45分

Melody Brewz：本の森ちゅうおうミニコンサート

「中央区にお住いの方々や小さなお子さま連れでコンサートに行けない方などに気軽に参加いただける」をコンセプトに演奏会を開催しました。フルート奏者の蔦岡ひかりさんとピアノ奏者の福本茜紗さんをお迎えして２部構成で行いました。第１部はディズニーメドレーやジブリの楽曲などを、第２部では童謡を披露していただきました。ぐずる子もなく、赤ちゃんも高齢の方もみんな演奏を楽しんでくれていました。好評につき、10月、12月と続けて別の奏者によるコンサートを開催しました。



本の森ちゅうおうミニコンサート

10月13日（月・祝）午後2時～4時

「歌舞伎座と松竹の130年」

松竹株式会社の岡崎哲也さんにご登壇いただき、創業から 130 周年を迎えた松竹と、歌舞伎についてお話しいただきました。白井・大谷兄弟による松竹設立の経緯をはじめ、貴重な映像・音源・写真が披露され、鬼籍に入られた名優たちとのエピソードには、時折涙ぐみながら語られる場面もありました。現場を知る方ならではの生の証言に触れる貴重な機会となりました。また、岡崎さんや歌舞伎俳優と、世界各国の VIP との交流の様子を伝える写真展示からは、歌舞伎が国際的に高い評価を確立した歩みがうかがえました。

岡崎哲也さん

12月7日（日）本の森ちゅうおうトークリレー　午後2時～4時

平松洋子講演会「食べる」と「読む」

「読書にまつわる素敵なお話」を切り口としたトークリレー第四弾を開催し、エッセイストの平松洋子さんをお迎えしました。「食べる」と「読む」、そして「書く」を題材に、前半は取材で撮影した写真を交えながら、「お品書きも文学である」という独自の視点が語られ、受講者の熱心に耳を傾ける様子が印象的でした。後半では、平松さんが今年注目した作品について伺い、穏やかながらも説得力のある語り口に、会場は大きな共感に包まれ、読書の魅力をあらためて味わうひとときとなりました。

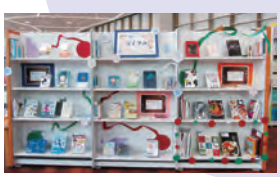
平松洋子さん

展示コーナー

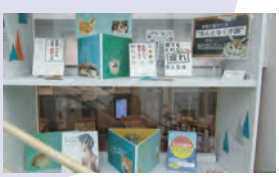
「コイフユ」（11月期）

「季節の変わり目…なんとなく不調から抜け出したい」（9月期）

京橋図書館では、毎月テーマを決めて資料の展示を行っています。各階展示コーナー１１ヶ所と階段展示５ヶ所で、所蔵資料を知っていただこうと図書館員が工夫を凝らしています。１１月の３階の一般展示コーナーでは「コイフユ」と題して「来い冬」「恋冬」「濃い冬」の三つのテーマで冬を有意義に過ごすための本を展示しました。



３階 一般展示コーナー（１１月期）



階段展示（３～４階、９月期）

2025年7月～12月開催イベント 本の森イベント報告

児童対象イベント　7月30日（水）11：00～12：00

「本の森子ども科学教室 紫キャベツでファンタジーアート」

わくわくキッズのあべまりさんを講師に「本の森こども科学教室」を開催しました。「紫キャベツでファンタジーアート」と題して、紫キャベツを使用した色の変化実験をしました。実験の後は、紫キャベツ液を染み込ませたコーヒーフィルターに、酸性やアルカリ性の身近な液体を使って模様を描くアート作品も作りました。みんな集中して実験に参加して、完成したアート作品も、どれもすてきな仕上がりでした。

紫キャベツでファンタジーアート

児童対象イベント　10月26日（日）10：30～11：30

「ハロウィン工作会」

4歳～小学生向けに「ハロウィン工作会」を開催しました。ハロウィンらしく子どもたちは魔女やリスの仮装、フェイスペイントをして参加してくれました。スタッフも負けじと仮装をして、ハロウィンらしい雰囲気で楽しく工作をしました。作ったのは紙パックを使った「ちいさなおみせやさん」で、基本の「おみせ」に、それぞれが色塗りや飾りつけを工夫して、自分だけの「おみせやさん」を完成させました。参加してくれたみんなは、ハロウィンと工作を大いに楽しんでいました。

ハロウィン工作会

7月12日（土）午後2時～4時

『銀座百点』創刊70周年記念講演会

1955年に日本初のタウン誌として創刊された『銀座百点』が、創刊70周年を迎えたことを記念し、講演会を開催しました。現編集長の田辺夕子さんをお招きし、創刊から現在に至るまでの歩みや誌面の変遷、編集にまつわる苦労話、作家との思い出、そして今後の展望についてお話しいただきました。聞き手は中央エフエムの岩嵜いづみさんにお願いし、和やかな雰囲気の中でトークが進みました。参加者からは、「『銀座百点』は銀座の“いま”を記録し続ける、素晴らしい仕事」というお声をいただきました。

『銀座百点』講演会風景

8月7日（木）午後6時30分～8時30分

香りと『源氏物語』香之図を知る、文学を感じる。

日本の伝統芸道である香道と文学の関わりについて知る講座を開催しました。文学の博士号をお持ちの武居雅子さんの解説は、分かりやすく、時にユーモアもあり会場は和やかな雰囲気に包まれました。源氏物語になぞらえ、香りを聞き当てるゲーム「組香」の体験では、参加者が講師の集中した美しい所作に見入り、繊細で淡い香りに向き合う雅やかなひと時を味わいました。講師が手作りした組香の道具の展示もあり、初心者が香に出会う貴重な機会になったと参加者からも好評でした。

武居雅子さん

11月9日（日）中央区まるごとミュージアム2025　午前10時～12時

文様から知る「蔦重の時代」レクチャーと「もんきり」ワークショップ

造詣作家で切り紙などを伝承されている下中菜穂さんを講師にお招きして、前半は大河ドラマ「べらぼう」の主人公蔦屋重三郎たちが築いた江戸の出版文化に関して、江戸時代の実物の書籍に触れていただきながらレクチャーを実施。後半は江戸時代に生まれた「もんきり」という紙遊びを参加者で行い、できあがった「もんきり」を竹串飾りにして会場に飾りました。参加された方々も真剣に、そして楽しそうに「もんきり」作りに没頭して、お互いの作品を見せあっておられました。

下中菜穂さん

12月6日（土）戦後80年講演会　午後2時～4時

戦時下の京橋図書館　その歩みをたどる

図書館史研究者の奥泉和久さんを講師に迎え、戦時下における京橋図書館をテーマに講演会を開催しました。戦時の厳しい統制や検閲のもとで、京橋図書館がいかに運営を続け、図書館員たちがどのような覚悟で知の場を守ろうとしたのか、豊富な資料とともに語られました。あわせて戦前から戦後に使用されていた図書館用品の展示も行い、当時の図書館サービスや利用環境を具体的に知る機会ともなりました。戦後80年を迎えるいま、図書館の存在意義を歴史から問い直す内容となりました。

奥泉和久さん

2025年ミニシアター上映作品のご紹介

《ミニシアターとは》奇数月の第三土曜日の午後2時から開催される映画上映会です。邦画、洋画、ドキュメンタリー等幅広いジャンルの作品を上映します。また、各上映演目に合わせた図書館資料も併せて展示します。バリアフリー映画会も併せてご紹介します。

《7月ミニシアター》『風が吹くとき』

（京橋図書館所蔵
資料ID／1500332653）

戦後80年という節目で上映。多くの利用者から現在の世界情勢に照らし合わせ、考えさせられたという感想をいただきました。

《あらすじ》
田舎でのどかに暮らしていた夫婦の上に、ある時、核爆弾が落とされる。せいさんな事態の中でもなんとか五体満足で生き延びた二人は、そのうち助けがくると信じて生活を再開させるが…。戦争の悲惨さを描いたアニメーション映画。

風が吹くとき
（1986年）
©MCMLXXXV1

《9月ミニシアター》『老後の資金がありません！』

（京橋図書館所蔵
資料ID／1500324957）

同名人気小説の映画を上映。有名俳優が出演する人気作なだけあって、開場前からたくさんの参加希望者が並び、上映中も笑い声が上がる和やかな上映会でした。

《あらすじ》
コツコツと老後資金を貯めてきた主婦・篤子に、親の葬儀や娘の結婚、夫の失職など次々と出費がかさむ出来事が降りかかる。貯金0円が迫る中、さらには浪費家の姑との同居までもが始まった。

©2021年映画『老後の資金がありません！』製作委員会

《11月ミニシアター》『クリスマス・キャロル』

（京橋図書館所蔵
資料ID／1500309040）

クリスマスのスペシャルミニシアターとして、名作を上映。観覧者の中には涙を流されている方も見受けられ、素敵なクリスマスプレゼントになったのでは。

《あらすじ》
高利貸しのスクルージは冷血な金の亡者。彼にとっては、めでたいクリスマスも、にがにがしい日でしかなかった。しかしある年のクリスマスの夜、スクルージの枕元に死に別れた友人が亡霊となって突然現れる。

クリスマス・
キャロル

《バリアフリー映画会》

バリアフリー映画会とは
作品に音声ガイドと日本語字幕をつけて上映する映画会。

《10月19日(日)開催》『九十歳。何がめでたい』

（京橋図書館所蔵
資料ID／1500316623）

同名エッセイの映画化作品を上映。バリアフリー資料の展示も行い、幅広い方々に楽しんでいただきました。

《あらすじ》
執筆業を辞めた作家・佐藤愛子90歳のもとに、エッセイ連載の企画が舞い込む。編集者からの説得に、彼女は「書かない」の一点張りで…。

©2024年映画「九十歳。何がめでたい」製作委員会 © 佐藤愛子／小学館

京橋図書館 2025年
年間貸出資料部門別ランキング

皆様が借りていらっしゃる本、雑誌、CD、DVDをランキングにしました。
これから借りる資料の参考にご覧ください。　貸出対象期間　2025年1月～12月

●一般資料ランキング

順位	貸出回数	タイトル／作者
1	108	架空犯／東野圭吾
2	97	クスノキの女神／東野圭吾
3	89	魔女と過ごした七日間／東野圭吾
4	87	あなたが誰かを殺した／東野圭吾
5	85	赤と青のガウン - オックスフォード留学記 - ／彬子女王
6	82	木挽町のあだ討ち／永井紗耶子
6	82	ブラック・ショーマンと覚醒する女たち／東野圭吾
7	79	52 ヘルツのクジラたち／町田そのこ
8	70	方舟／夕木春央
9	69	婚活マエストロ／宮島未奈

●児童資料ランキング

順位	貸出回数	タイトル／作者など
1	167	だるまさんが／かがくい　ひろし
2	155	サンドイッチサンドイッチ／小西英子
3	142	からすのパンやさん／かこ　さとし
4	140	くだもの／平山和子
5	137	おつきさまこんばんは／林　明子
6	135	おばけのバーバパパ／アネット＝チゾン
7	134	だるまさんと／かがくい　ひろし
8	132	がたんごとんがたんごとん／安西水丸
9	130	だるまさんの／かがくい　ひろし
10	125	かいじゅうたちのいるところ／モーリス・センダック

●ティーンズ資料ランキング

順位	貸出回数	タイトル／作者・監修など
1	119	成瀬は天下を取りにいく／宮島未奈
2	113	汝、星のごとく／凪良ゆう
3	89	成瀬は信じた道をいく／宮島未奈
4	82	同志少女よ、敵を撃て／逢坂冬馬
5	78	波浪の月／凪良ゆう
6	73	星を編む／凪良ゆう
7	62	変な家［1］／雨穴
8	61	カフネ／阿部暁子
9	53	変な家［2］／雨穴
10	51	世界でいちばん透きとおった物語［1］／杉井光

●雑誌ランキング

順位	貸出回数	分野	タイトル
1	624	女性誌	クロワッサン
2	526	経済・金融	プレジデント
3	495	総合誌	Tarzan
4	442	児童	こどものとも　0.1.2.
5	387	趣味・娯楽	おとなの週末
6	383	経済・金融	週刊東洋経済
7	376	女性誌	日経 Woman
8	369	服飾・料理	オレンジページ
9	313	児童	こどものとも　年少版
10	292	一般週刊誌	AERA

● CD ランキング

順位	貸出回数	タイトル／アーティストなど
1	32	replica ／ Vaundy
2	31	猫にジェラシー／あいみょん
3	28	First　Love ／宇多田ヒカル
4	27	Adoの歌ってみたアルバム／ Ado
5	26	Rejoice ／ Official 髭男dism
5	26	THE GREATEST UNKNOWN ／ King Gnu
5	26	フェイクファー／スピッツ
5	26	Hey!Say!JUNP 2007-2017 1/0 ／ Hey!Say!JUMP

● DVD ランキング

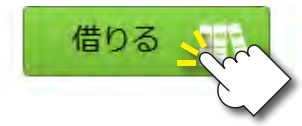
順位	貸出回数	タイトル／監督・原作など
1	35	かがみの孤城　映画／原　恵一
2	23	アナと雪の女王 2／クリス・バック
3	22	異動辞令は音楽隊！／内田　英治
4	20	みをつくし料理帖／角川　春樹
4	20	老後の資金がありません！／前田　哲
5	19	クーリエ / 最高機密の運び屋／ドミニク・クック
6	18	かもめ食堂／荻上 直子

電子書籍貸出サービスのご案内

中央区内在住・在勤・在学の方は利用者カードを作るだけでご利用できます。
※在勤・在学の方は登録時に勤務先・在学校を確認できるもの（社員証・学生証など）を併せてお持ちください。
今回は改めて、電子書籍貸出サービスの魅力を皆様にご案内します。

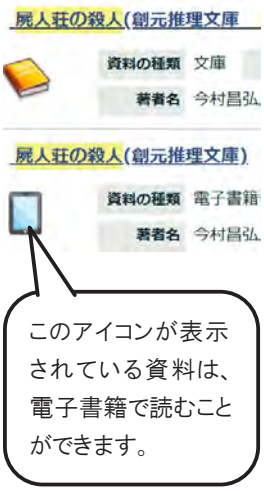
ワンクリックで貸出、自動で返却

読みたい電子書籍の「借りる」ボタンを押すだけですぐにご利用できます。
貸出から14日が経過すると自動で返却されるので、返却忘れはありません。



図書館ホームページとの連携機能

電子書籍は、電子書籍ホームページの他、図書館ホームページの検索や図書館内の検索機でも検索でき、図書館ホームページのマイページで紙の本と合わせて貸し出し状況を確認できます。また、予約した資料の順番が来たときに、メールでお知らせすることもできます。



電子書籍ならではの便利機能も

読み上げ機能：表示された文章を音声で読み上げます。対応する資料は、詳細検索の絞り込み条件「音声読み上げ」にチェックを入れることでお探しいただけます。
リーダー設定：文字サイズや背景色などを見やすさに合わせて変えられます。
自動ページ送り機能：画面を操作せずとも一定時間ごとにページをめくることができます。リーダー設定で時間間隔を調整できます。

また、電子書籍の独自資料として**オーディオブック**もご用意しています。
本を活字で読むことが苦手な方、別のことをしながら朗読を聴きたい方などにおすすめです。

貸出の多いジャンルは？

	一般向け	児童向け
1位	文学	文学
2位	ビジネス（経済学）	絵本
3位	料理（家政学）	学習漫画（伝記）

一般向け、児童向け共に文学作品が１位。一般向けでは旅行ガイドもよく借りられています。

200タイトル以上の雑誌が読める「DLマガジン」

経済誌やファッション誌、趣味の雑誌など、様々なジャンルの雑誌を電子書籍でお読みいただけます。
紙版を図書館で所蔵していない雑誌や、保存年限を過ぎた号などもあります。
（最新号は図書館内の Wi-fi 接続時に閲覧が可能です。）

コンテンツ数は年々増加中です。この機会にぜひ、電子書籍貸出サービスをお試しください！

編集後記

本の森ちゅうおうが開館してから３年が経過しました。この３年間は従来の京橋図書館では実施出来なかったイベントや展示に尽力してまいりましたが、いっぽう、貴重書庫では中央区や東京に関する歴史、文化、芸能など多くの貴重資料を保存しています。この度、貴重資料を皆さまのお目に触れる機会を増やしご利用いただくために、３階メインカウンター横で常時展示することにいたしました。第１回は「中央区の劇場－明治座・築地小劇場・新橋演舞場」を開催します。ぜひご覧ください。　京橋図書館館長